



2階に居る保護者に見守られる新成人

初めて成田空港が会場に

成人式

成人の日を翌日に控えた1月12日、「成人式」が行われました。ことしは市制施行60周年を記念し、初めて成田空港で開催。第2旅客ターミナルビル前中央広場を会場とし、航空会社の客室乗務員による受け付けや出発ロビーでの記念撮影などが行われ、空港ならではの式典となりました。ことしの市内の新成人は、男性738人、女性642人の合わせて1,380人です。新成人を代表し、木内将太さんと明石^{あやの}絢乃さんが、将来の夢や責任を持った大人になることへの決意を語りました。当日は式典開始前から多くの新成人が会場に集まり、恩師や旧友との再会を喜びながら、写真撮影をしたり、思い出を懐かしんだり、人生の節目を祝っていました。



旧友との再会に笑顔がこぼれる



ゴールを目前にスパートする選手たち

寒風突き激走

下総地区マラソン大会

地元の冬の恒例行事「下総地区マラソン大会」が1月11日、下総運動公園で開催されました。実施された種目は、学年・年齢別のマラソンとミニ駅伝。当日の朝は寒波の襲来による厳しい冷え込みとなりましたが、参加者たちは家族の声援を受けながら、コースとなったサイクルロードを駆け抜けました。

270年を超える伝統行事

龍正院注連縄奉納

龍正院で1月8日、仁王門(国指定重要文化財)の注連縄^{しめなわ}の奉納が行われました。龍正院では、江戸時代の享保年間(1716~1736年)のころ、門前通りで火災が発生した際に、仁王門に安置された仁王様が大きなうちわで火をあおり返して本堂や民家を守ってくれたという言い伝えがあります。このことに感謝して、火災を免れた土地に住む人たちが毎年1月8日に注連縄を奉納します。秋にとった稲わらを持ち寄り、作業は午前8時ごろから午後3時ごろまでかかります。ことしも見事な注連縄が仁王門に掛けられました。



仁王門に新しく飾られる大きな注連縄



広々としたグラウンドでどんど焼きを楽しむ参加者たち

無病息災を願って

どんど焼き

竹で組んだやぐら櫓と共に、家庭から持ち寄った正月飾りや書き初めなどを燃やす「どんど焼き」が1月11日、神宮寺小学校のグラウンドで行われました。参加した子どもたちの手で火を付けられた櫓は、瞬間に炎に包まれ、空を焦がさんばかりに燃え上がりました。火の勢いが弱まると、大人も子どもも一緒に、餅を竹の先に挟んで焼き、1年の無病息災を祈願していました。

空の旅の無事を祈る

新春航空安全祈願祭

航空機と空港利用者の旅の安全を祈る「新春航空安全祈願祭」が1月1日、成田空港で行われました。空港関係者らが見守る中、成田山新勝寺の僧侶が安全法楽を行い、成田空港に乗り入れる航空会社などに護摩札が授与されました。会場の周辺には、厳かな式典の様子を、立ち止まって珍しそうに見つめる旅行客の姿もありました。



成田山新勝寺の僧侶が安全を祈願

お年玉クロスワードクイズ

ことしの答えは **もりんぴあこうづ** です

新春恒例の「お年玉クロスワードクイズ」(本紙1月1日号)にたくさんのご応募どうもありがとうございました。731通の応募の中から、厳正な抽選の結果、次の50人の皆さんが当選しました。当選者には記念品(1,000円分の図書カード)をお贈りします。



当選者(敬称略・50音順)

安達滉一(加良部)、新井翼(飯田町)、安藤ひろ子(玉造)、飯田美津男(下福田)、五十嵐健太(飯田町)、石毛敦子(猿山)、岩瀬崑久江(中台)、遠藤喜久枝(橋賀台)、遠藤寿子(公津の杜)、大木静枝(郷部)、大関美和(御所の内)、大塚弘子(東町)、大山ユキ子(橋賀台)、小倉文子(加良部)、尾嶺その子(橋賀台)、加藤晟子(寺台)、加藤武雄(桜田)、神山清美(荒海)、河村正明(橋賀台)、喜多結花(美郷台)、木村智子(中台)、坂西啓一郎(並木町)、嶋山成美(中台)、佐藤諒(本三里塚)、椎名泰子(吾妻)、椎名ふみ(和田)、嶋田佳子(橋賀台)、庄野八重子(加良部)、鈴木学(美郷台)、高井恵(土屋)、續麻加(加良部)、鶴田千恵子(小菅)、富田安茂(玉造)、長島明雄(吾妻)、夏見章(玉造)、根本洋子(船形)、日改直義(奈土)、平野里予(桜田)、平山恵理(美郷台)、平山一子(中台)、福島小百合(加良部)、星谷由紀(宗吾)、三上慶(三里塚御料)、水口邦(中台)、三好美咲(玉造)、森英子(飯田町)、山川君子(中台)、山元美智子(飯田町)、矢村房子(八代)、龍崎きみ(川栗)